

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年8月25日（火）

2 確認箇所

固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設予定地（図1）

3 確認項目

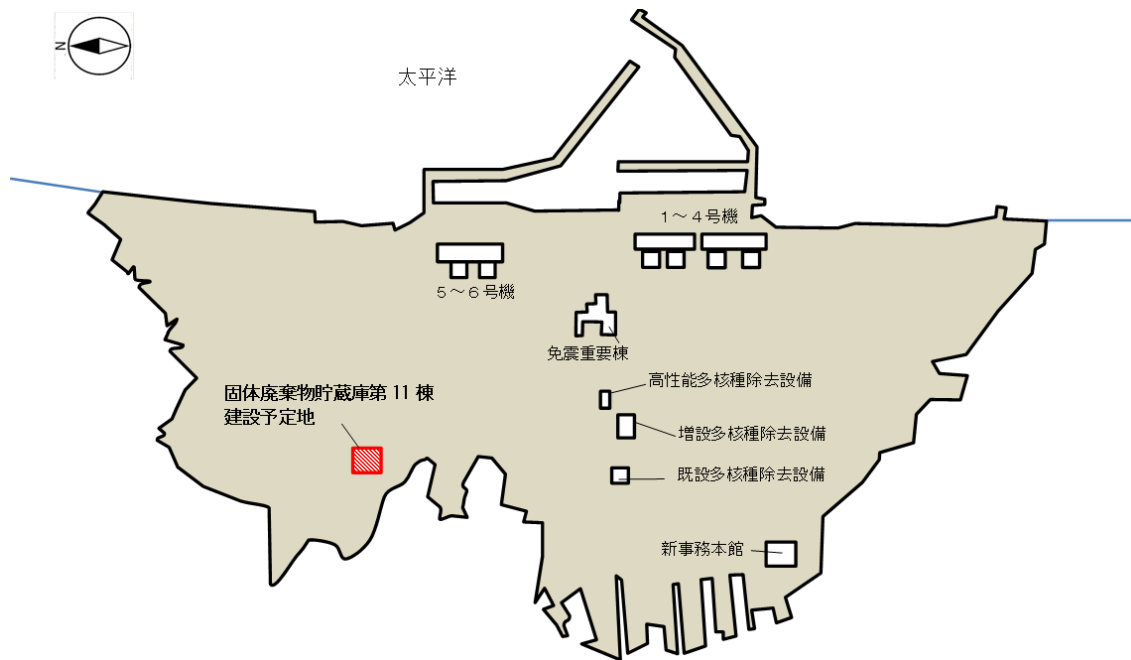
固体廃棄物貯蔵庫第11棟建設工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程である「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」の達成のため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外の瓦礫類一時保管エリアの解消を進めている。この取組の一環として、固体廃棄物貯蔵庫第11棟（以下「第11棟」という。）を建設し、廃炉作業で発生する瓦礫類などを、容器に収納した状態で一時保管する計画としている。

今回は、第11棟に係る建設工事の状況を確認した。（前回確認：令和8年7月14日）

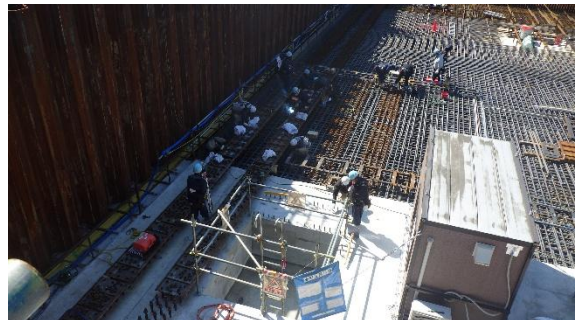
- ・ 第11棟の地下階部分において、コンクリートの打設作業及び壁面部の鉄筋配筋作業が継続して進められていたほか、鋼板コンクリート（SC鋼板）設置工事に向けた床面ボルトの調整作業等が行われていた。また、南側エリアにおいて、東京電力による施工状況確認が行われていた。（写真1、写真2）
- ・ 固体廃棄物の搬入口にあたる北側において、運搬車両用のスロープ部分における鉄骨の組立工事が進められていたほか、スロープ部分の鋼矢板の埋入・溶接工事や壁面への遮水シートの敷設工事等が行われていた。（写真3）
- ・ 中央エリアにおける構台の設置による東西を跨ぐルート確保や、エリア全周にわたる作業員等の移動用歩廊及び地下階へ移動する際の昇降用アクセスルートの整備、暑熱対策小屋の設置など、前回確認時に引き続き、作業安全に向けた取組が継続して実施されていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 地下階のコンクリートの打設(北側)



(写真1-2) 北東壁面部における鉄筋の配筋作業、S C鋼板設置工事に向けた床面ボルト調整等



(写真1-3) 地下階のコンクリート打設①(北側スロープの手前部分)



(写真1-4) 地下階のコンクリート打設②(東側、地下階の基礎部分は最大4層での打設構造)



(写真 2－1) 東京電力による施工状況確認①



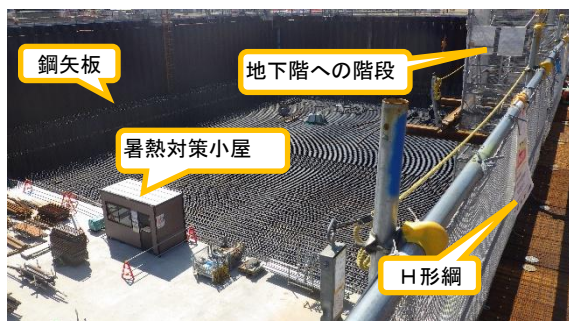
(写真 2－2) 東京電力による施工状況確認②



(写真 3－1) 北側搬入口の状況①（運搬車両スロープ用の鋼材組立）



(写真 3－2) 北側搬入口の状況②（壁面への防水シートの貼付作業）



(写真 4－1) 中央エリアの状況（作業時の暑熱対策小屋を設置）



(写真 4－2) 歩廊及び地下階へのアクセスルートの確保状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。